

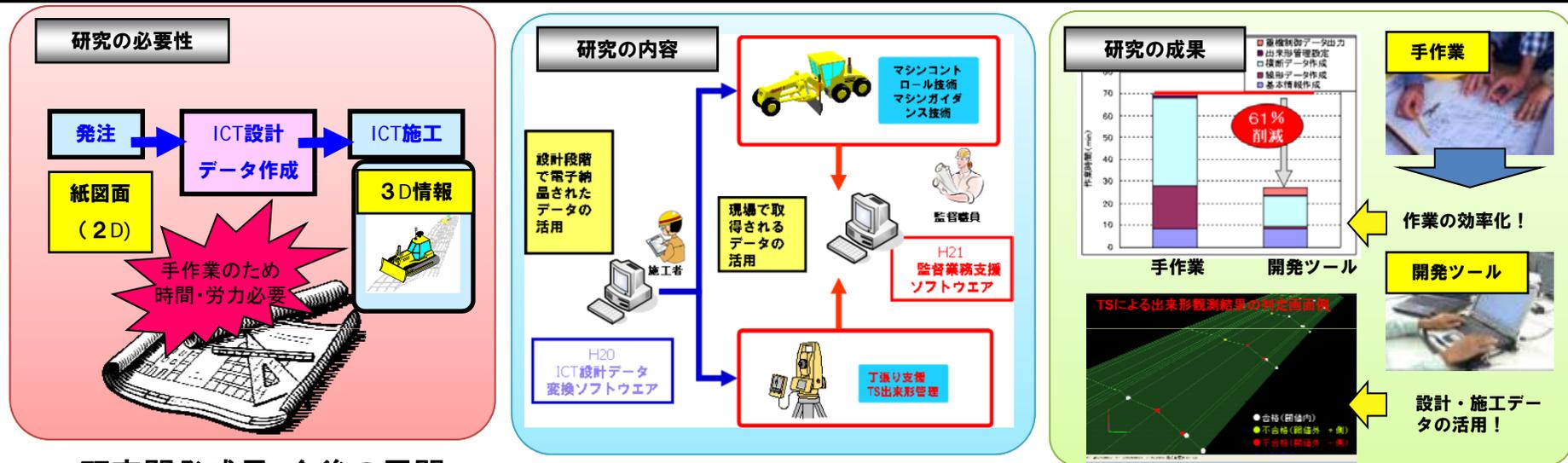
政策課題解決型研究開発 (H20～H21)

「図面データを直接利用したICT監督業務支援ツールの開発」

社団法人日本建設機械化協会 施工技術総合研究所 上石 修二

－ 研究開発概要 －

- 電子納品された設計データ(SXF、2次元)は、そのままではICT施工に使えない。設計データを読み込み、ICT施工などで必要な設計データ(3次元)を作成するソフトウェアを開発した(H20)。
- ICT施工で得られたデータが品質管理に活用されていない。日時・場所を指定して品質を効率的にチェックできる監督支援ソフトウェアを開発した(H21)。



－ 研究開発成果・今後の展開 －

- 電子納品された設計データ(SXF)を読み込み、パソコン画面上でICT施工のためのデータ、ICT施工管理のためのデータを作成・出力できる。検証実験により、手作業と比較して約6割削減を確認。
- 品質・出来形管理に用いる情報を読み込み、データ確認と判定を行うことができる。
 - 現在電子納品されている図面データ、SXFデータを有効に活用できる。
 - 構造物を面的に管理できるため品質向上に寄与できるとともに、監督業務、施工管理を効率化できる。
 - 当研究所HPより成果(ソフトウェア他)をダウンロード可能(H21成果はH22.8月以降に公開予定)。

研究の詳細はコチラ → <http://www.cmi.or.jp/>